

英語を楽しく

No. 50

21, April

☆ クッション英語の Excuse me, と使い分けの think

日本語で知らない人に何か話しかける時、

「ちょっとすみませんが…」

と言うのと同じように英語でも人に話しかける時、

“Excuse me,” と言ってから話しかけるのが普通ですね。それは自分が話しかける人に注意を引かせ「今からあなたに話かけますよ。」と言うメッセージですね。なお、Excuse me, の後に、すぐ用件を話すのではなくほんの少し間を置いて話す相手の人は聴き取りやすいものです。

“Excuse me, (少し間をおいて) I'm lost. Where is Hakucho primary school?”

「すみません。道に迷ったのですが、白鳥小学校はどこでしょうか。」です。

少し間を置く言い方を必要とする場合をもう一ついいますと

“I think that he will marry Megumi.”

「彼は、恵と結婚するでしょう。」との意味ですが、that があることで、話者が「う～ん、そうですね。彼は恵と結婚すると思いますね。」と考えながら言っているそんな含みをもっています。

もし、think を省略すると、ずっと前から思っていたり、文意に丁寧さが少ないととられたりします。

親しい間柄では
that も言わないとも。

☆ renewal と renovation

リニューアル (renewal) という言葉を聞くことが多いと思います。そのとき、

「家をリニューアルした (主に、家の中)。」

といった使い方をして例えば、家の中の台所を作り替えたとか畳の部屋を床暖房に変えたとかそんなことを指す言葉として使われているように思います。

しかし、renewal の単語の意味は「更新・回復・再開・やり直し」ですから、ふさわしい使い方とは言えないのではないのでしょうか。

部屋の「改装・改造」あれば remodeling と言った方が 英米語圏の人は正しく理解してくれるでしょう。

また最近リノベーション (renovation) という言葉も聞きますが、それは、(古い) 建物・絵画などの) 修復・革新・改善。～s として修復工事 修復した建物を指します。時折、この単語をテレビ番組で使っています。

外国の言葉を使うのなら正しく内容を知って使いたいものですし、それより、我々にはすばらしい日本語があるのですから、それを使って正しく内容を伝えたいものです。

Yoshi

